



平成 19 年 4 月 26 日

各 位

会 社 名 イーピーエス株式会社  
 代表者の 代表取締役社長 巖 浩  
 役職氏名  
 (登録銘柄コード番号: 4282東証一部)  
 問い合わせ先 常務取締役 神宮 孝一  
 電話番号 03-5684-7797(代表)

### 業績予想の修正に関するお知らせ

平成 19 年 9 月期中間(平成 18 年 10 月 1 日~平成 19 年 3 月 31 日)の業績及び平成 19 年 9 月期期末(平成 18 年 10 月 1 日~平成 19 年 9 月 30 日)の業績予想について、平成 18 年 11 月 10 日の決算短信において発表いたしました中間業績及び通期業績予想を下記のとおり修正いたしますのでお知らせいたします。

#### 記

#### 1. 平成 19 年 9 月期中間業績

##### 1. 平成 19 年 9 月期中間業績予想の修正

(1) 中間期連結業績修正予想(平成 18 年 10 月 1 日~平成 19 年 3 月 31 日)

(単位:百万円)

	売上高	経常利益	中間純利益
期初予想(A)	8,182	729	371
今回修正予想(B)	8,472	1,352	630
増減額(B-A)	290	623	259
増減率	3.5%増	85.5%増	69.8%増
前年実績	7,110	657	333

(2) 中間期個別業績修正予想(平成 18 年 10 月 1 日~平成 19 年 3 月 31 日)

(単位:百万円)

	売上高	経常利益	中間純利益
期初予想(A)	4,890	531	322
今回修正予想(B)	5,138	964	488
増減額(B-A)	248	433	166
増減率	5.1%増	81.5%増	51.6%増
前年実績	4,353	638	367

#### 2. 中間業績修正予想の理由

##### (1) 連結業績修正予想の理由

当社グループにおいて、当中間連結売上は 8,472 百万円(期初予想比 3.5%増)と期初予想を若干上回りました。中間連結経常利益は 1,352 百万円(同比 85.5%

増)、中間連結純利益は630百万円(同比69.8%増)と、期初業績予想を大幅に上回りました。

その主な理由として、CRO事業を遂行している当社グループの主力業務であるモニタリング業務及びデータマネジメント業務が好調で、プロジェクトの進捗及び受託が順調に進んだことにより稼働率が向上し、期初予想を大幅に上回る業績(詳細は、個別業績修正予想の理由をご参照下さい。)となったこと、SMO事業を遂行しております株式会社イーピーメントにおいて、売上は若干未達でありましたが、事務所別管理体制が整備され原価及び経費の管理が充実したことにより増益となったこと、及び上記以外のグループ会社の業績も概ね期初予想を上回ったことによります。

## (2) 個別業績修正予想の理由

当社の当中間売上高は、5,138百万円(期初予想比5.1%増)となりました。

その主な理由として、データマネジメント業務が堅調であったことと、モニタリング業務も概ね期初予想を上回ったことにより増収となりました。

経常利益につきましては、964百万円(同比81.5%増)と大幅な超過達成となりました。

その主な理由として、各部門フル稼働の中で売上管理・費用管理が徹底され、売上が超過達成となる一方原価及び経費を削減できたことにより大幅増益となりました。

一方、投資有価証券の評価により特別損失を210百万円計上致しました。

以上の結果、中間純利益は、488百万円(同比51.6%増)となり、増収増益となりました。

## 平成19年9月期期末の通期業績

### 1. 平成19年9月期通期業績予想の修正

#### (1) 通期連結業績修正予想(平成18年10月1日~平成19年9月30日)

(単位:百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
期初予想(A)	17,700	2,400	1,267
今回修正予想(B)	17,700	2,650	1,331
増減額(B-A)	0	250	64
増減率		10.4%増	5.1%増
前年実績	15,257	1,979	1,079

#### (2) 通期個別業績修正予想(平成18年10月1日~平成19年9月30日)

(単位:百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
期初予想(A)	10,852	1,750	1,031
今回修正予想(B)	10,742	1,880	1,050
増減額(B-A)	110	130	19
増減率	1.0%減	7.4%増	1.8%増
前年実績	9,479	1,664	980

## 2. 通期業績修正予想の理由

### (1) 連結業績修正予想の理由

当社グループの通期連結業績予想は、期初通期予想と比較して若干の上方修正となります。

その理由として、CRO事業を遂行しております当社は、下期において成長に必要な要員確保に関するコスト増（詳細は、個別業績修正予想をご覧ください。）を見込んでおります。

SMO事業を遂行しております株式会社イーピーメントは、下期においても期初予想どおり順調に推移すると見込んでおります。

また、非臨床事業を遂行しているエルエスジー株式会社グループは、下期において受注が軟調となり期初予想を下回ると見込んでおります。

ソフトウェア開発事業を行うオーライソフトウェア株式会社グループは、順調に推移するものと見込んでおります。

これに伴い通期見直し連結経常利益が、2,650百万円（期初予想比10.4%増）になると見込んでおります。

その結果、通期見直し連結当期純利益は、1,331百万円（同比5.1%増）になると見込んでおります。

### (2) 個別業績修正予想の理由

当社の通期において、売上高につきましては概ね期初予想どおりで10,742百万円（期初予想比1.0%減、EPSインターナショナル株式会社を分社したことにより）、経常利益につきましては、1,880百万円（同比7.4%増）になると見込んでおります。

その理由として、下期において当社業務の成長に必要な要員の確保という問題があり、採用に関する費用の増加等が予想されるため通期では、上記の内容となることを見込んでおります。

また、特別損失として上期に投資有価証券の評価損失210百万円を計上しております。

以上により通期見直し当期純利益は、1,050百万円（同比1.8%増）になると見込んでおります。

### その他

上記及びの予想数値は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後、様々な要因により、異なる結果となることがあります。

以上